

志太広域都市計画事業
焼津市南部土地区画整理事業

完成記念誌



Yaizu-nanbu

焼津市南部土地区画整理組合

志太広域都市計画事業
焼津市南部土地区画整理事業

完成記念誌

令和7年11月

南
や
ぐ
つ
部

1987-2025

CONTENTS もくじ

| | |
|----------------------|----|
| 事業完成にあたって 理事長 小長谷 久彌 | 1 |
| 祝・完成にあたって 焼津市長 中野 弘道 | 2 |
| 事業の概要 | 3 |
| 施行前(航空写真) | 5 |
| 施行後(航空写真) | 6 |
| 事業計画図 | 7 |
| 新町名図 | 8 |
| 施行前後の地積 | 9 |
| 資金計画 | 10 |
| 土地利用計画等 | 11 |
| 事業効果 | 12 |
| 施行前の風景写真 | 13 |
| 施行後の写真 | 14 |
| 石津西公園 | 15 |
| 道路・河川・橋梁 | 16 |
| 役員名簿 | 17 |
| 焼津市南部地区民俗誌 ヤシャンボー | 19 |



事業完成にあたって

志太広域都市計画事業 焼津市南部土地区画整理事業の完成にあたり、ご挨拶を申し上げます。

本地区は、宅地、農地、工業地が入り混じり、また、狭隘な道路や行き止まりの道路が多く、土地の有効利用が進まないため、災害時の緊急活動にも支障をきたす状況がありました。

そこで、土地区画整理事業により「良好な宅地の整備」と「人が賑わい、災害に強く、安全・安心で快適な魅力ある街づくり」を目指して、昭和59年度に準備委員会を発足し、昭和63年2月に県知事より事業認可を受けて焼津市南部土地区画整理事業がスタートしました。

当時、日本最大の規模を誇っていた本事業に対して、不安を抱える組合員の方も少なくなく、様々な意見が寄せられるなど、開始当初から課題が山積し、さらに、この間バブルの崩壊による経済活動の停滞、東日本大震災に伴う防災意識の高まりや風評被害など、事業を取り巻く社会情勢も大きく変化したことから、完成までの道のりは、決して平坦ではありませんでした。

そのような困難な中にあって、組合員の皆様の団結により、約40年の歳月をかけ、ここに焼津市南部土地区画整理事業が晴れて完成いたしましたこと、感慨深いものがあります。

そして、約4千人だった人口が、現在では8千人を超え、また本地区だけでなく焼津市にとっても中核となるイオンショッピングセンターをはじめとする店舗も多く建ち並ぶ焼津市の中心のひとつとなっております。そのような事業に携わらせていただきましたこと、また、そこに住む者としても、大変誇らしく感じております。

結びになりますが、本地区が、今後も活気あふれる希望に満ちた生活の場として、さらに発展していくことを願い、ご挨拶とさせていただきます。

令和7年11月吉日

理事長 小長谷 久彌



祝・完成にあたって

今般、多くの市民の皆様のご協力により、組合施行の焼津市南部土地区画整理事業が無事に完成しましたことを心からお慶び申し上げます。

本地区は、かつて旧国道150号が地区内を斜めに横断し、幹線道路は整備途上で、生活道路の多くは狭隘であり、災害時の緊急活動に支障をきたすなど、住環境の悪化が懸念される状況にありました。

そのため、本地区の念願であった、良好な宅地の整備と健全な市街地の形成を目指し、施行面積166.4ヘクタールという、全国最大規模となる本事業が始動し、昭和62年度の認可から令和7年度の完成に至るまで、実に38年間という長きにわたる壮大な事業でありました。

本事業により、多くの方々の夢がかたちとなり、小川島田幹線をはじめとする都市計画道路32路線や区画道路、歩行者・自転車専用道路が整備され、利便性の高い道路網が形成されました。更に、準用河川前の川を含む河川水路の整備によって治水安全度の向上が図られたほか、4.2ヘクタールの石津西公園「みなく～る」や小川公園を含む11カ所の都市公園の設置により、豊かなふれあいの場が創出され、安全・安心で快適な暮らしを支える、災害に強いまちの礎が築かれました。

そして、新たな都に呼応するかのように、多くの生活利便施設が集積し、良質な住環境の整備が進んだことにより、地区内の人口は事業当初の2倍以上に増加し、活気と魅力あふれるまちへと生まれ変わりました。

これまで長きにわたり本事業にご理解とご協力を賜りました地権者の皆様をはじめ、事業の推進に尽力された歴代理事長および役員の皆様、組合運営に携わっていただいた総代の皆様に対し、深い敬意とともに、心より感謝申し上げます。

結びに、完成を待たずしてご逝去された方々を偲びつつ、本事業に関わられた全ての皆様のご苦労とご功績を称えるとともに、新たな都づくりによって築かれた礎が今後とも地域の発展に寄与し、より一層繁栄していくことを祈念申し上げ、お祝いの言葉とさせていただきます。

令和7年11月吉日

焼津市長 中野 弘道

事業の概要

1 土地区画整理事業の名称等

(1) 土地区画整理事業の名称

志太広域都市計画事業 焼津市南部土地区画整理事業

(2) 施行者の名称

焼津市南部土地区画整理事業組合

2 施行位置

本地区は、当市のほぼ中央、JR焼津駅の南側約4kmに位置し、地区の北側は二級河川黒石川、東側及び南側は県道静岡焼津線(旧国道150号)、南西に焼津市立総合病院が隣接し、東西約1.1km、南北約1.5kmの区域です。

●施行位置図



3 事業概要

所在地：静岡県焼津市

施行者：焼津市南部土地区画整理事業組合

組合設立：昭和63年2月20日

面積：166.4ha

総事業費：524.3億円

施工期間：昭和62年度～令和7年度

権利者数：2,470人 ※令和6年7月12日(換地処分)現在

都市施設：都市計画道路32路線、公園11箇所

減歩率：公共減歩率 18.49%

合算減歩率 24.78%

移転戸数：1,108戸(移転率100%)

役員の定数：理事20人、監事3人(総代60人、評議員5人)

4 事業の経過

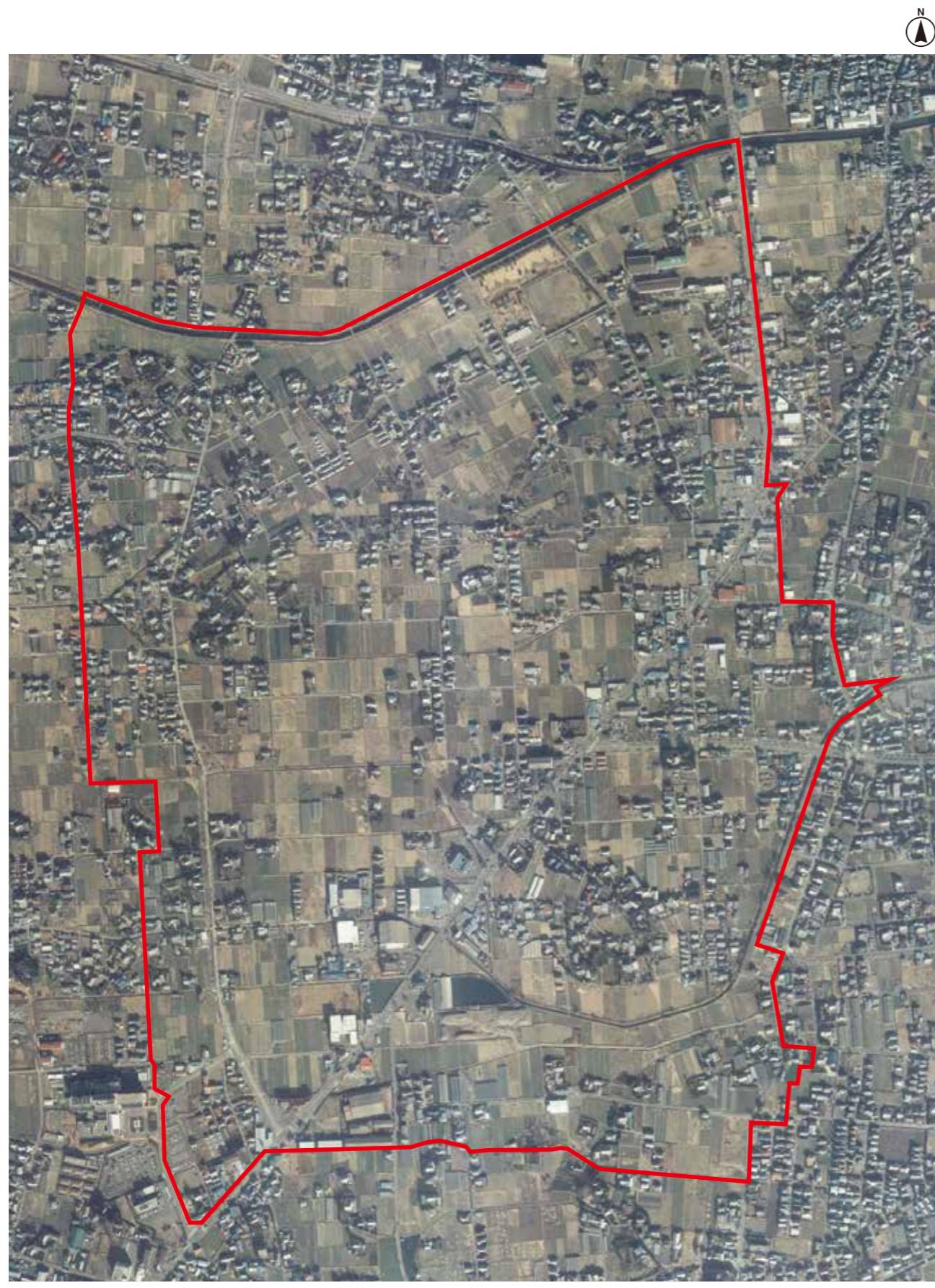
| | | |
|---------------|---------------------------|---|
| 昭和57年度～昭和59年度 | 区画整理事業調査 | |
| 昭和59年11月21日 | 準備委員会発足(第1回総会) | |
| 昭和62年 2月 3日 | 都市計画決定(告示の日) | |
| 昭和63年 2月26日 | 組合設立認可(公告の日) | ●………… 昭和63年 2月26日 当初 |
| 昭和63年10月26日 | 事業計画決定(公告の日) | |
| | 工事着工(起工式) | |
| 平成4年度～令和6年度 | 事業計画の変更 (第1回～第11回) | ●………… 平成 4年 9月 8日 第1回変更 平成 7年 4月25日 第2回変更 平成 9年 3月18日 第3回変更 平成12年11月 6日 第4回変更 平成18年 5月30日 第5回変更 平成25年 2月 1日 第6回変更 平成28年 1月12日 第7回変更 平成30年 6月19日 第8回変更 令和 3年 1月22日 第9回変更 令和 4年 6月24日 第10回変更 令和 6年 7月 2日 第11回変更 |
| 令和元年度 | 工事完了 | |
| 令和 6年 7月12日 | 換地処分(公告の日) | |
| 令和 7年 2月 7日 | 換地処分に伴う土地区画整理登記 (完了の日) | |
| 令和6年度～令和7年度 | 保留地の所有権移転登記 清算金徴収・交付 | |
| 令和 7年11月 2日 | 完成記念式典(竣工式) | |

5 事業の目的

本地区は、市街化が進行しているにもかかわらず、幹線道路は未整備で区画道路も狭隘であり、災害時の緊急活動にも支障をきたしていました。また、無秩序な市街化により土地利用も、住・商・工の混在形態になる傾向がみられ、ほぼ全域にわたりスプロール化が進行していたため、居住環境の悪化をまねくばかりでなく、土地利用効率の低下と新市街地としての相応しい発展も阻害している現状でした。

そこで、都市計画道路を主軸とする街路網、水路網、公園等の各種都市施設を計画的に整備し、併せて土地利用の高度化を図り、健全なる宅地の造成を行うことを目的として土地区画整理事業が立ち上りました。

施行前

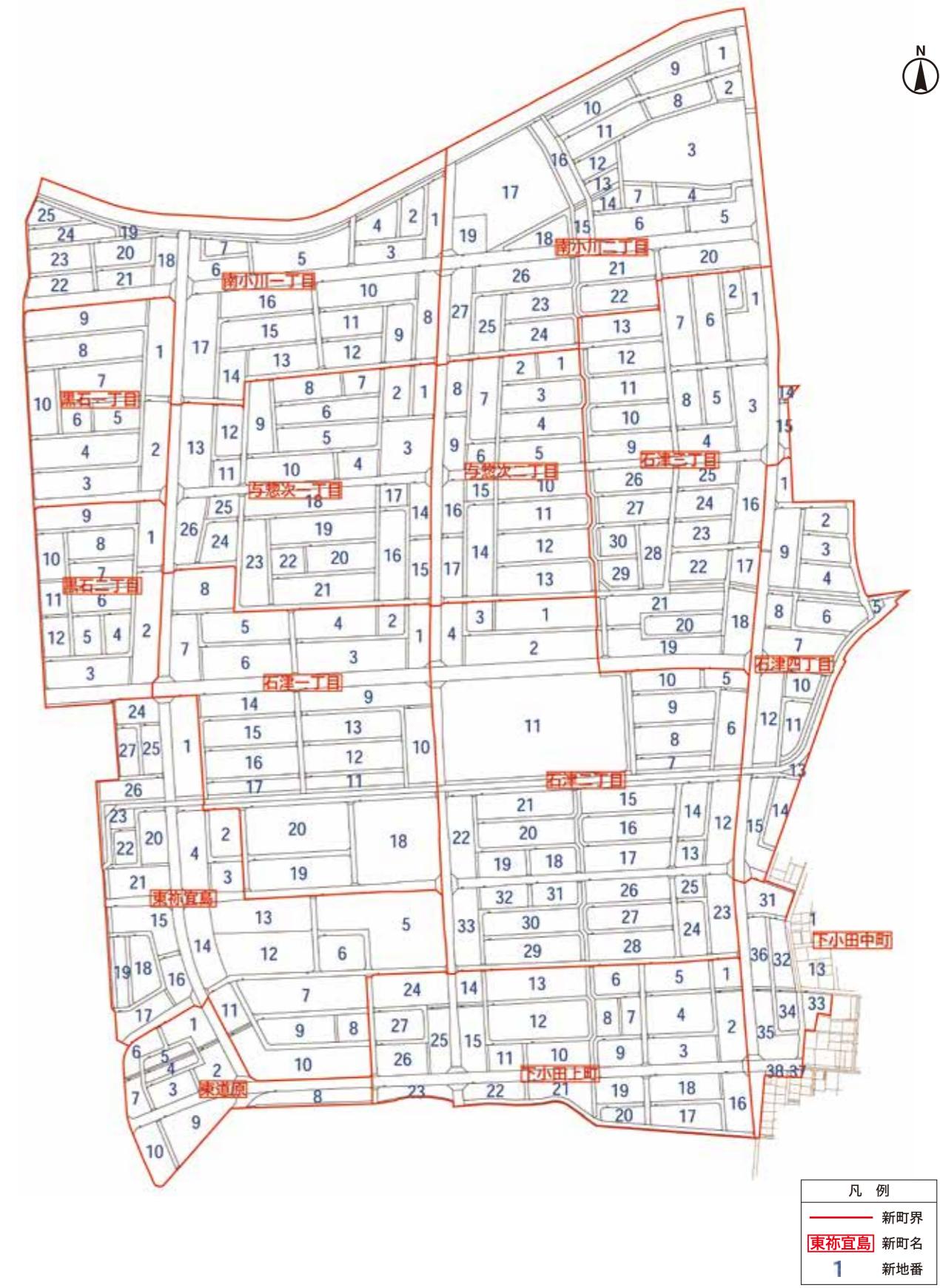


施行後



事業計画図

新町名図



土地の種目別施行前後対照表

| 種目 | | 施行前 | | | 施行後 | | 備考 | |
|------|-----------|---------------------|--------------|-------|---------------------|--------------|-------|--|
| | | 地積(m ²) | 割合(%) | 筆数 | 地積(m ²) | 割合(%) | | |
| 公共用地 | 国有地 | 道路 | 152,85 | 0.01 | 2 | 152,85 | 0.01 | |
| | | 河川 | 37,601.64 | 2.26 | 15 | 40,946.30 | 2.46 | |
| | | 水路 | 72.00 | 0.01 | 1 | — | — | |
| | | 計 | 37,826.49 | 2.28 | 18 | 41,099.15 | 2.47 | |
| | 地方公共団体所有地 | 道路 | 147,820.18 | 8.88 | 529 | 404,274.64 | 24.29 | |
| | | 公園 | 19,723.58 | 1.19 | 48 | 79,659.67 | 4.79 | |
| | | 河川 | — | — | — | — | — | |
| | | 水路 | 68,721.05 | 4.12 | 10 | 4,990.70 | 0.30 | |
| | | 堤塘敷 | 17.00 | 0.01 | — | — | — | |
| | | 緑地 | — | — | — | 922.72 | 0.06 | |
| 合計 | | 236,281.81 | 14.20 | 587 | 489,847.73 | 29.44 | | |
| 合計 | | 274,108.30 | 16.48 | 605 | 530,946.88 | 31.91 | | |
| 宅地 | 民有地 | 田 | 787,242.89 | 47.32 | 2,913 | — | — | |
| | | 畠 | 86,538.49 | 5.20 | 568 | — | — | |
| | | 宅地 | 422,597.93 | 25.40 | 1,820 | — | — | |
| | | 原野 | 13.00 | 0.01 | 1 | — | — | |
| | | 池沼 | 30,172.21 | 1.81 | 65 | — | — | |
| | | 山林 | 1,307.00 | 0.08 | 5 | — | — | |
| | | 墓地 | 773.30 | 0.05 | 10 | 1,025,620.29 | 61.65 | |
| | | 境内地 | 2,878.00 | 0.17 | 6 | — | — | |
| | | 用悪水路 | 16.52 | 0.01 | 3 | — | — | |
| | | 公衆用道路 | 4,857.62 | 0.30 | 109 | — | — | |
| | | 水道用地 | — | — | — | — | — | |
| | | 雑種地 | 21,413.27 | 1.29 | 106 | — | — | |
| | | 学校用地 | 15,855.21 | 0.95 | 6 | 19,502.91 | 1.17 | |
| | | 計 | 1,373,665.44 | 82.57 | 5,612 | 1,045,123.20 | 62.82 | |
| | 公有地 | 国有地 | 81.80 | 0.01 | — | — | — | |
| 合計 | | 1,373,747.24 | 82.58 | 5,612 | 1,045,123.20 | 62.82 | | |
| 保留地 | | — | — | — | 87,555.92 | 5.26 | | |
| 測量増減 | | 15,795.94 | 0.95 | — | 25.48 | 0.01 | | |
| 総計 | | 1,663,651.48 | 100.00 | 6,217 | 1,663,651.48 | 100.00 | | |

減歩率計算表

| 整理前宅地面積 (台帳地積) m ² | 同更正地積 (測量増減を 加減したもの) m ² | 整理後宅地地積 | | 差引減歩地積 | | 減歩率 | |
|-------------------------------------|--|-----------------------------------|-----------------------------------|--------------------------|--------------------------------------|------------|----------------------|
| | | 保留地を含めた 宅地地積 m ² | 保留地を除いた 宅地地積 m ² | 公共減歩地積 m ² | 公共保留地を 合算した減歩地積 m ² | 公共減歩率 % | 公共、保留地 合算減歩率 % |
| 1,373,747.24 | 1,389,543.18 | 1,132,679.12 | 1,045,123.20 | 256,864.06 | 344,419.98 | 18.49 | 24.78 |

保留地の予定地積

| 整理前 宅地価格総額 (予想) 千円 | 整理後 宅地価格総額 (予想) 千円 | 宅地価格 総額の増加額 千円 | 整理後 1m ² 当り予定価格 円/m ² | 保留地として 取り得る 最大限地積 m ² | 保留地の予定地積 m ² | 割合 % | 摘要 |
|-----------------------------|-----------------------------|----------------------|---|---|----------------------------|---------|---------|
| 117,416,399 | 136,374,566 | 18,958,167 | 120,400 | 157,459.86 | 87,555.92 | 55.61 | y=1.425 |

収入

(1) 収入

| 区分 | | 金額 | 備考 |
|------------|----------|------------|---|
| 基本事業費 | 国費 | 1,934,700 | |
| | 通常 県費 | 932,150 | |
| | 市費 | 932,150 | |
| | 小計 | 3,799,000 | |
| 住宅 市街地 | 国費 | 1,050,500 | |
| | 県費 | 518,750 | |
| | 市費 | 518,750 | |
| | 小計 | 2,088,000 | |
| 交付 金 | 国費 | 12,546,523 | |
| | 県費 | 5,284,493 | |
| | 市費 | 5,284,494 | |
| | 小計 | 23,115,510 | |
| 特定道路 | | 4,722,718 | |
| 都市再生 | | 448,830 | |
| 都市再生整備計画事業 | | 2,705,184 | |
| その他(市助成金等) | | 6,565,951 | 助成金 6,475,883(千円) その他 90,068(千円) |
| 保留地処分金 | | 7,224,807 | 82,516円/m ² ×87,555.92m ² |
| 計 | | 50,670,000 | |
| 公共施設管理者負担金 | | 1,760,000 | 公園 1,760,000(千円) |
| 合計 | | 52,430,000 | |

(2) 他事業施行分

| 事業名称 | 事業費 | 備考 |
|---------------|---------|---------------|
| 2級河川黒石川河川改修事業 | — | |
| 準用河川前の川河川改修工事 | 295,000 | 平成28年度～平成30年度 |

支出

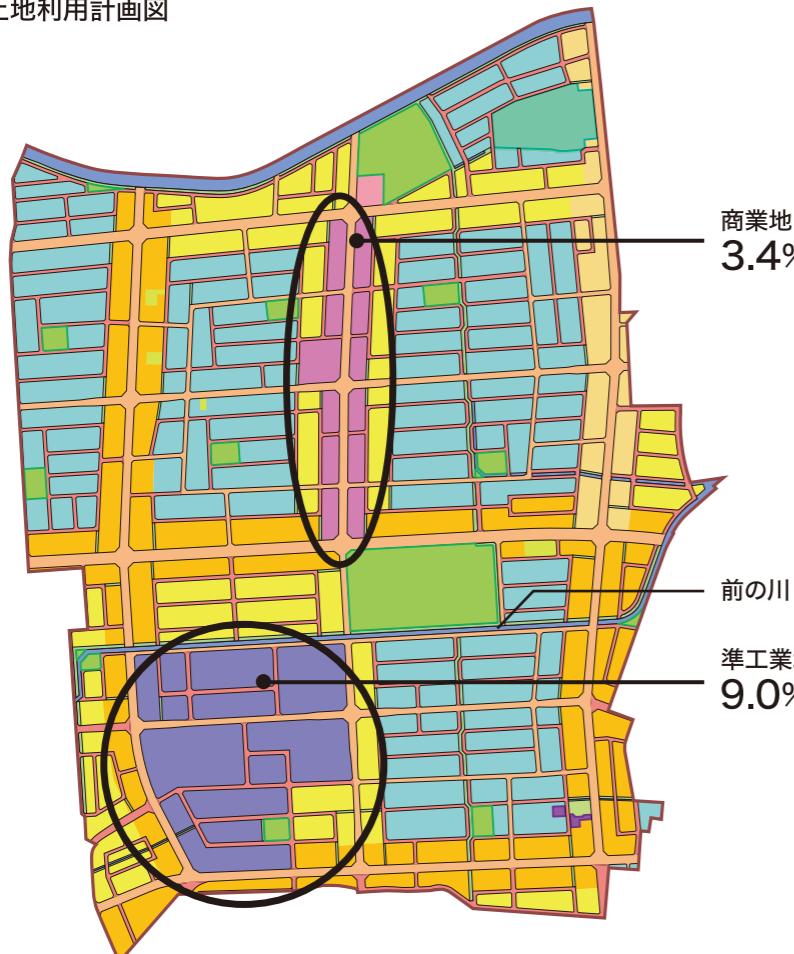
| 事項 | | 単位 | 事業量 | 事業費 | 摘要 |
|------------------|-----------|----------------|--------------|------------|----|
| 公共施設整備費 | 道路 築造費 | m | 18,436.30 | 4,323,832 | |
| | 区画街路 | m | 29,877.70 | 3,068,355 | |
| | 水路 築造費 | m | 4,824.10 | 2,105,868 | |
| | 橋梁費 | 所 | 7 | 299,372 | |
| | 公園施設費 | m ² | 60,018.00 | 54,636 | |
| | 緑地施設費 | m ² | 922.72 | 14,119 | |
| | 計 | — | — | 9,866,182 | |
| | 建物移転費 | 戸 | 1,108 | 25,263,783 | |
| | 墓地移転費 | 基 | 183 | 111,977 | |
| | 計 | — | — | 25,375,760 | |
| 移設 | 電柱移設費 | 本 | 504 | 264,876 | |
| | ガス移設費 | m | 20,817 | 474,073 | |
| | 電纜移設費 | m | — | — | |
| | 上水道移設費 | m | 29,700 | 945,423 | |
| | 計 | — | — | 1,684,372 | |
| | 上水道 | m | 24,745 | 214,241 | |
| | ガス | m | — | — | |
| | 仮設住居 | 戸 | 25 | 455,103 | |
| | 整地費 | m ² | 1,031,806.00 | 2,663,092 | |
| | 附帯工事費 | — | — | 713,208 | |
| 法第2条第2項 該当事業費 | | 機械器具費 | — | — | |
| | | | | | |

1 土地利用計画

各種上位計画との整合を図りながら都市計画道路や公園など、適正な土地利用計画を立案することにより、良好な居住環境と計画的な市街地の誘導を図りました。

具体的には、地区の北側中央部の都市計画道路沿いに近隣商業地域を配置し、商業施設を誘致することにより中心地としての形成を図りました。また、東西を流れる準用河川前の川南西部には準工業地域を配置して、地区内の地場産業等の工場を誘導し、その他は概ね住宅として、各種用途の明確化を図りました。

●土地利用計画図



| 凡 例 | |
|-------------|---------|
| 都市計画道路 | 区画道路 |
| 特殊道路 | 河川・水路 |
| 公園・緑地 | 小学校 |
| 寺廟・神社 | 墓地 |
| 公益施設 | |
| 〈用途地域〉 | |
| 第一種低層住居専用地域 | 第一種住居地域 |
| 第二種住居地域 | 準住居地域 |
| 近隣商業地域 | 準工業地域 |

土地区画整理事業の整備効果

昭和62年度より組合施行で土地区画整理事業を進めてまいり、多くの方々からご協力をいただき中、令和元年度末に、道路、河川・水路、公園など全ての公共施設整備が完了し、災害に強く、安全・安心で快適な魅力ある新市街地に生まれ変わりました。

住環境の向上に加え、市による定住促進補助制度の効果により、若者世帯の定住が加速し、事業開始前の昭和62年に3,988人だった人口が、令和6年3月末の時点で8,349人と2倍以上となり、区画整理事業を実施しなかった場合の推定人口2,864人と比較すると3倍近い増加となっています。

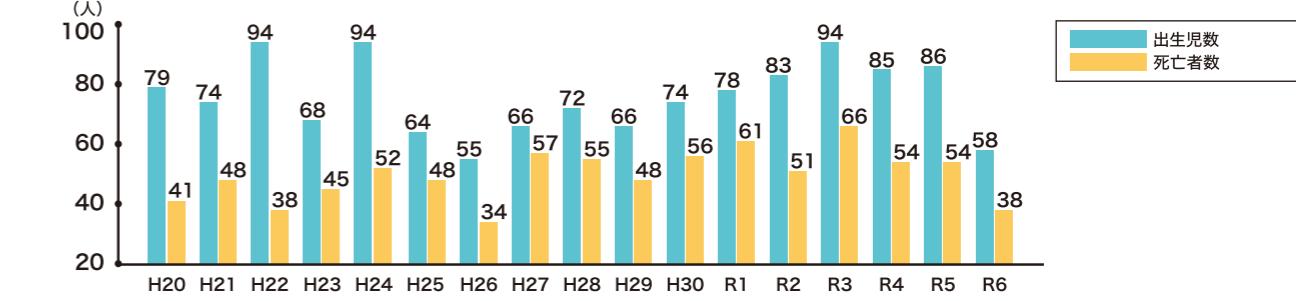
また、自然動態の推移は出生児数が死亡者数を上回る自然増となっています。なお、静岡県の分析ソフトによる試算では、事業実施による経済波及効果は約874億円と算出されています。



地区内人口の推移 (各年4/1現在)



自然動態の推移 (各年4/1~3/31の自然動態数)



2 公共施設計画の概要

(1)道路

幹線道路：約 9,670m
区画道路：約 32,082m
特殊道路：約 6,583m

(2)公園

地区公園：石津西公園(約4.2ha)
近隣公園：小川公園(約2.0ha)
街区公園：9力所(約1.9ha)

(3)排水施設

河川：二級河川 黒石川
：準用河川 前の川
水路：約4,813m

3 地区外との関連

本地区北側に小川第三地区(施行済)、東小川地区(施行済)、東側に会下ノ島石津地区(施行中)及び石津地区(施行済)が接しているため、当地区を整備することによりこれらの地区との整合を図りました。特に、都市計画道路の完成により、市街地中心部への交通アクセスが大幅に向上しました。

施行前の風景写真



二級河川 黒石川・小川公園北側

(都)小川島田幹線・石津西公園北側



工区内の前の川最下流部



小川公園



小川・琴平神社付近



区画整理前
準用河川 前の川



焼津駅道原線・与惣次付近



現・しづおか焼津信用金庫 石津支店付近

施行後の写真



(都)小川島田幹線・消防防災センター



商業施設屋上より北東を望む



(都)焼津駅道原線



(都)小川下小田線



準用河川 前の川



(都)黒石通り線



石津西公園(地区公園)



自転車歩行者専用道路



令和6年11月23日、24日にピックヨウル～海の街のクリスマスマーケット～が開催されました。ピックヨウルとはフィンランド語で小さなクリスマスを意味し、クリスマス前に友人や同僚と一緒に楽しむ小さなパーティーのことです。市内外から多くの方がお越しになり、2日間で約1万8千人が来場しました。



イベントのほか、平日や週末にはキッチンカー等事業者が出店し、更なる賑わいを創出しています。公園の愛称である「みなく～る」は、公園が日常に溶け込み、年齢関係なくみんなが集う場所として命名され、伸び棒は焼津の波や海風を表しています。



準用河川 前の川(石津西公園南側)



(都)焼津下小田線



(都)焼津駅道原線



(都)焼津駅道原線・(都)小川島田幹線



(都)焼津駅道原線・小川橋



(都)焼津駅道原線(イオンショッピングセンター)



(都)小川下小田線



自転車歩行者専用道路

役員名簿

焼津市南部土地区画整理組合歴代理事役員

理事長

| 初代 | 第2代 | 第3代 |
|------|------|-------|
| 瀧井 勇 | 石田松雄 | 小長谷久彌 |

◎理事長 ◎副理事長 ※順不同

第1期・昭和63年3月13日～平成5年3月12日

| | | | | | |
|----|---|---------------------------------------|--|--|---------------------------------------|
| 理事 | ◎瀧井 勇 ○石田松雄 杉本栄太郎 中野俊明 松山定雄 | ○宮島耕一 加藤善吉 鈴木作次 藤田季治 丸山敬一 | ○原崎 弘 小長谷行雄 巣原勝郎 前川棟司 宮島正男 | ○戸塚良太郎 小梁金作 高橋嘉一 増田茂夫 吉田勝巳 | ○清水徳次 斉藤金幸 中野孝樹 増田 進 横山欣司 |
| 監事 | 中野隆雄 | 増田利夫 | 増本竹夫 | 吉田 幸 | |

第2期・平成5年3月13日～平成10年3月12日

| | | | | | |
|----|--|--|---------------------------------------|---|---|
| 理事 | ◎瀧井 勇 ○清水徳次 高橋嘉一 吉田勝巳 増田茂夫 | ○石田松雄 小梁金作 加藤善吉 杉本栄太郎 中野隆雄 | ○宮島耕一 増田宣平 鈴木作次 丸山敬一 中野 武 | ○原崎 弘 藤田季治 鈴木弘司 小長谷行雄 五十嵐 昭 | ○戸塚良太郎 池ヶ谷昌見 巣原勝郎 増田 進 横山欣司 |
| 監事 | 増本竹夫 | 宮島正男 | 松山定雄 | 増田利夫 | |

第3期・平成10年3月13日～平成15年3月12日

| | | | | | |
|----|--------------------------------|--------------------------------|-------------------------------|--------------------------------|-------------------------------|
| 理事 | ◎石田松雄 ○原崎藤雄 小池康郎 武藤郁夫 | ○丸山敬一 大工原 裕 鈴木作次 小林昭敏 | ○原田八郎 佐藤幹雄 吉田昇次 中野隆雄 | ○戸塚吉郎 曾根勝郎 石田守一 五十嵐 昭 | ○丸山昇司 高橋嘉一 丸山 栄 松山定雄 |
| 監事 | 増田利夫 | 増本竹夫 | 八木千代松 | 中野博行 | |

第4期・平成15年3月13日～平成20年3月12日

| | | | | | |
|----|----------------------------------|--------------------------------|--------------------------------|--------------------------------|-------------------------------|
| 理事 | ◎石田松雄 ○増田純一郎 那須野 章 丸山敬一 | ○鈴木春敏 大工原 裕 鈴木辰男 八木 稔 | ○武藤郁夫 林 太郎 吉田 周一 堀内勝男 | ○戸塚吉郎 中野新之助 吉田一夫 中野勝義 | ○土屋邦雄 青野円一 平田武司 鈴木光義 |
| 監事 | 増田利夫 | 大石和男 | 桜井昭之 | 中野政之 | |

焼津市南部土地区画整理組合歴代理事役員

第5期・平成20年3月13日～平成25年3月12日

| | | | | | |
|----|--------------------------------|--------------------------------|-------------------------------|-------------------------------|-------------------------------|
| 理事 | ◎石田松雄 ○原崎充弘 齋藤正之 池上 誠 | ○小長谷久彌 杉山諒司 名木敏彦 吉田勝弘 | ○八木政行 那須野章 櫻井正敏 天野敏夫 | ○戸塚吉郎 中野省吾 増田茂夫 小林昭敏 | ○藤浪武男 中野勝義 鈴木光義 石黒裕典 |
| 監事 | 増田利夫 | 大石和男 | 小林杏子 | 中野政之 | |

第6期・平成25年3月13日～平成30年3月12日

| | | | | | |
|----|----------------------------------|--------------------------------|-------------------------------|-------------------------------|-------------------------------|
| 理事 | ◎小長谷久彌 ○那須野 章 吉田昇次 五条幹雄 | ○原崎充弘 太田良高治 杉山諒司 天野敏夫 | ○中野博行 齋藤正之 鈴木光義 増田茂夫 | ○藤浪秀一 横山孝治 勝矢敏行 深沢輝雄 | ○宮島 敏 中野省吾 増井 茂 小林昭敏 |
| 監事 | 大石和男 | 吉田一夫 | 竇石 勇 | 中野政之 | |

第7期・平成30年3月13日～令和5年3月12日

| | | | | | |
|----|-----------------------------------|-------------------------------|-------------------------------|-------------------------------|-------------------------------|
| 理事 | ◎小長谷久彌 ○那須野 章 畠 道晴 太田良高治 | ○原崎充弘 杉山諒司 小濱隆夫 深沢輝雄 | ○中野博行 齋藤正之 五条幹雄 増田茂夫 | ○藤浪秀一 横山千年 勝矢敏行 大坪春夫 | ○宮島 敏 中野省吾 天野敏夫 横山一夫 |
| 監事 | 大石和男 | 吉田一夫 | 中野政之 | | |

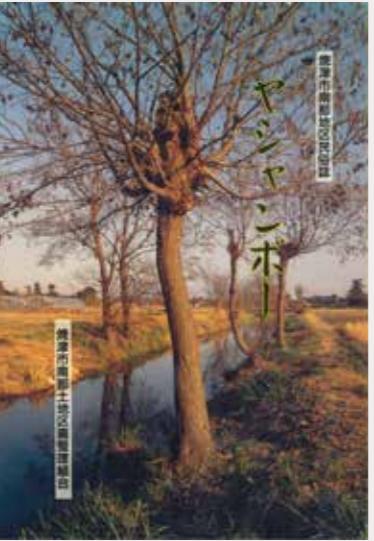
第8期・令和5年3月13日～令和10年3月12日

| | | | | | |
|----|---------------------------------|-------------------------------|-------------------------------|-------------------------------|--------------------------------|
| 理事 | ◎小長谷久彌 ○原崎充弘 畠 道晴 松下典生 | ○藤浪秀一 杉山諒司 小濱隆夫 増田茂夫 | ○工島好彦 五条幹雄 加藤悦朗 増田茂夫 | ○鈴木春敏 鍋田和利 加藤悦朗 大坪春夫 | ○青島基夫 横山千年 太田良高治 天野敏夫 |
| 監事 | 大石和男 | 吉田一夫 | 中野政之 | | |



焼津市南部地区民俗誌

ヤシャンボー



平成五年三月刊行

図書館及び歴史
民俗資料館にて
閲覧いただけます。

焼津南部地区は、大井川の形成した平野の中の先端部にあたり、永く水田稲作を主とした生活を営んできた歴史があります。その歴史の中には、先人たちが一鋤一鋤起こして築いた田畠を、洪水で一夜にして失ったことも度々あります。また地震の津波で家屋敷とともに多くの人の命を奪われたこともあります。残念ながら今は枯れてない「鳴子の松」は、その津波に追われ必死に枝にしがみついた人々の様子が、まるで鳥追いの道具「鳴子」のようだったということから付けられた名前だそうです。

純農業地域の村々も、昭和四〇年代から宅地化が進み、樋廻いの家と新建材の家が並ぶようになりました。それに伴い自動車時代がやってきて、耕地整理の折に造成された道が現代の生活にそぐわないものになっていきます。そんな中で今、自動車時代に即した土地区画整理事業が進行しています。また新たな時代を迎えようとしているわけです。しかしそれは、ヤシャンボーの並木道、樋の木に囲まれた屋敷、棚井に泳ぐ鯉など故郷の懐かしい風景が消え去っていくことでもあります。私たちは変化していく風景と共に、その中で先人たちが語り伝えてきた思いを忘れてはなりません。そんな故郷への思いを記録しようと、この焼津南部地区民俗誌「ヤシャンボー」を編みました。この本がやがて後の人々に何らか役に立つであろうことを心より願っています。

焼津市南部土地区画整理事業
初代理事長 瀧井 勇